

2018 年度 健診補助制度一部変更のお知らせ (ホームページ 更新は 4/1 以降となります)

2018 年度の日立健保の健診補助制度につきましては、各種がん検診受診の大切さと早期発見、早期治療の観点から、「部位検診（オプション検査）の補助制度を一部変更・追加」といたしますので、下記の通りご案内申し上げます。

1. 補助制度変更開始日 2018 年 4 月 1 日受診分より適用

2. 健診補助制度の変更点

検査項目	変更後	現制度	備考
① <u>肺がん検査</u>	<u>35 歳以上</u> を補助対象とする	<u>50 歳以上</u> を補助対象とする	補助対象年齢の引き下げ
② <u>乳がん検査</u>	『乳房 X 線・乳房超音波』を同日、同健診機関にてセット受診の場合、 <u>健保補助上限額を 6,500 円に増額とする ※(1)</u>	乳がん検査総費用に対し、健保補助上限額は 3,500 円	『乳房 X 線・乳房超音波』セット受診時の補助額増額（同機関・同時受診のみ）
	レディース健診受診時の、基本コースに含まれない乳がん検査については、部位検診として補助可とする。※(2) (立替受診不可) <u>健保補助上限額 3,500 円</u>	レディース健診受診時の、乳がん検査部位検診補助は不可	『レディース健診』受診時の、乳がん検査部位検診追加受診の可否を変更
③ <u>ABC 検診</u> (胃がんリスク検査) ※(3)	<u>部位検診として新設し、健保補助上限額を 3,500 円とする</u> ＜補助対象年齢： <u>35 歳以上</u> ＞	費用補助なし	(1)ヘリコバクター抗体検査 (2)ペプシノゲン法検査 (3)ABC 判定 を全て実施した場合のみ補助対象

【各検査受診にあたっての注意事項】

(1) 乳がん検査のセット補助について

・「乳房 X 線（マンモグラフィ）」「乳房超音波（エコー）」の両方を、同日、同機関で受診し、同時請求された場合のみ、セット補助額（6,500 円）が適用となります。

但し、日立健保契約健診機関で受診した場合は、セット契約（セット料金）のある場合のみ対象となりますのでご注意ください。健診機関によっては、単独で両方契約があっても、セット契約がない場合があります。（推奨年齢で検査方法を分けている場合等）

※セット補助対象外の事例：

日立健保契約機関で人間ドック＋乳房超音波を受診し、別の医療機関で乳房 X 線を単独受診した場合等

(2) レディース健診に乳がん検査をオプションで追加する場合の補助対象例について

レディース健診を『乳房 X 線 2 方向コース』で受診し、『乳房超音波検査』を部位検診として追加で受診した場合、レディース健診と乳房超音波検査（3,500 円迄）の費用が共に補助対象となる場合があります。

※契約健診機関によって受診の可否が異なりますので直接受診機関へお問合わせ下さい。

(3) ABC 検診（胃がんリスク検査）について

・ABC 検診（胃がんリスク検査）は、胃の健康度を調べ、胃がんリスクを層別化する検査であり、胃がんの有無そのものを判定する検査ではありません。

・ABC 検診を受診希望される方で、以下に該当する方は事前に受診機関へ申告が必要な場合がありますので、受診機関のご案内に従って事前申告及び受診可否確認をお願いします。

- ・ ピロリ菌除菌治療を受けたことのある方 ・ 明らかな上部消化器症状のある方 ・ 胃切除後の方
- ・ 上部消化器疾患治療中の方 ・ 腎不全の方 ・ 胃酸分泌抑制薬（PPI）の使用中的の方 など